



2001年07月05日

**フォルクスワーゲンの2001年度上半期登録台数過去最高の32,170台を記録
-同社及び輸入車史上最高を記録-**

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:V G J、代表取締役社長:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市)がまとめた登録台数によると、フォルクスワーゲン ブランドの2001年度上半期(1月～6月)の登録累計台数が32,170台(対前年比 + 2,668台、9%増)に達し、同社及び輸入車史上最高記録(要確認)を更新しました。従来の上半期における最高台数は、2000年にフォルクスワーゲンが記録した29,502台でした。

また、6月単月の台数も5,748台と2ヶ月連続で輸入車No.1を獲得すると共に、6月として過去最高の台数を記録した昨年の6,113台に次ぐ過去2番目の高い水準を維持しております。

2001年度上半期において史上最高の登録台数を記録した原動力としては、主力車種であるゴルフを柱として、1999年9月に新規導入以来、依然として好調な販売を継続しているニュービートルや、2000年2月にフルモデルチェンジを行ったゴルフ ワゴン、更には同年5月に発表した新型ポロが大幅に台数を伸ばした点が挙げられます。

また、新車投入以外の要因としては、昨年11月から開始した一連のブランドキャンペーンや、今年1月よりスタートしたフォルクスワーゲン専売店ネットワークによるブランドイメージの向上、顧客満足度を高める新車保証プログラムの延長制度の導入などが挙げられます。さらに、7人制ラグビーのフォルクスワーゲンセブンスへの協賛や、2年連続のニュービートルカップ開催等、各種のイベント実施によってフォルクスワーゲン オーナーのブランドロイヤリティの向上と新規ユーザーの獲得もその要因の一つであるとフォルクスワーゲンでは考えております。

フォルクスワーゲンでは、本年度下期には新型ルポ、パサート等の投入により輸入車史上初の62,000台以上を目指し、輸入車年間登録台数NO.1を堅持していきます。